

2013年3月15日

いすゞ、インドでのLCV生産事業進出に向けた覚書を締結

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：細井行)のインド子会社「いすゞモーターズ インディア」は、この度インド南部のアンドラ・プラディッシュ州政府と同地域への生産事業進出に関する覚書を締結するとともに、LCV本格展開時のベースとなる新工場用地を確保しました。

本事業用地は、同州南部のスリ・シティ工業団地内に位置し、自動車産業が集積しているチェンナイ近郊及び輸出入港からのアクセスも良く、LCV事業拠点であるタイとの将来的な補完関係の構築という点からもロケーション的に最適と判断し、同地に決定致しました。将来的な目標である10万台の販売実現を念頭に、今回は約43万m²の用地を確保しました。

また、いすゞモーターズ インディアは今年より、ピックアップトラック(D-MAX)及び派生車(MU-7)の完成車輸入販売を開始致しました。まずは、アンドラ・プラディッシュ州、タミル・ナドゥ州の2州から販売ネットワークの構築に着手し、順次拡充して参ります。

インドの自動車市場は、同国の順調な経済発展により、去年は約360万台規模へ成長しており、中でもいすゞLCVのコア商品であるピックアップトラックのセグメントは約20万台規模へと急速に拡大しています。今後、市場ニーズに適した商品開発・販売ネットワークの拡充・現地生産体制の構築により、事業規模の拡大を目指します。

以上